

学校名 南城市立大里南幼稚園	連絡先 TEL : 098-945-2827 Eメール : nakamoto00378@city.nanjo.okinawa.jp
-------------------	--

1 実践事項 (2)

いきいき活動 わくわく発見 にこにこ遊ぶ みなみっこ☆

2 実践内容

- (1) 幼児の興味に合わせた遊びの展開
 - ・幼児のつぶやきから一人一人の興味関心を丁寧にくみ取り、遊びの充実を図る。
- (2) 地域（南城市）の文化や伝統に触れる
 - ・地域人材を活用し、伝統行事である奥武島のハーリーや大城のエイサーに触れる機会とする。
- (3) 保育ドキュメンテーションの共同作成
 - ・職員全体でカンファレンスを行い、保育ドキュメンテーションを作成し、遊びの中での育ちや学びを共有する。共通の幼児理解を基に、一人一人に合わせた援助や環境の構成を行う。

3 説明資料

- (1) 幼児の興味に合わせた遊びの展開



園庭に掘った穴で泥の感触を楽しむ



泥団子作り



どれが浮かぶか実験中



砂場で水路&スライダー建設



こま回しのコースを建設中



こま回し対決



ガラスのコップで音階作り



ピアノの中身を調査中



空き箱で楽器作り

(2) 地域（南城市）の文化や伝統に触れる



奥武島のハーリーに乗船体験



大城エイサーを観る



大城のチョンダラーになりきる

(3) 保育ドキュメンテーションの共同作成



教材研究 泥団子作り研究中



幼児と一緒に振り返り



保育ドキュメンテーションの共同作成

4 成果

- ・ 幼児が興味をもって始めた遊びを、十分にできる時間や場所などを保障したことで、探求心がより深まり、夢中になって遊ぶことにつながった。
- ・ 全職員でドキュメンテーションを活用し、保育カンファレンスを行うことで、遊びの読み取りが深まり、遊びの中で育てたい力を共通理解でき、幼児一人一人に合わせた援助を行うことができた。
- ・ 幼児が自ら考える過程を大切にし、教師も一緒に試したり考えたりすることを楽しむことでワクワク感が広がり、充実感を味わった。

5 課題

- ・ 幼児の活動の場面に応じて教師がすぐに援助をするのではなく、友達と関わりながら遊びを工夫していけるように援助のタイミングや援助の仕方を工夫していきたい。